

平成12年4月4日  
林野庁

「主要木材の短期需給見通し(平成12年第2四半期及び第3四半期)」  
について

林野庁は、平成12年3月28日に木材需給対策中央協議会予測部会を開催し、「主要木材の短期需給見通し」(平成12年第2四半期及び第3四半期)を別添のとおり作成した。

その概要は、次のとおりである。

**問い合わせ先**

林野庁林政部木材流通課

〒100-8952東京都千代田区霞ヶ関1-2-1

TEL(03)3502-8111(代)FAX(03)3502-0305

(03)3591-5794(直通)

担当：安定供給班

荒畑、伊藤 [ 内線6177、6178 ]

## 1 国産材（丸太）

製材用丸太の需要（工場入荷量）は、新設住宅着工戸数がやや減少すると見込まれるが、一戸建住宅は堅調な推移が期待されること等から、平成12年第2四半期325万 $m^3$ 程度（対前年同期比99.6%）、第3四半期は300万 $m^3$ 程度（対前年同期比98.4%）と大きな変動はないものと見通される。

## 2 米材

### （1）丸太

需要（港頭出荷量）は、新設住宅着工戸数がやや減少すると見込まれること等から、平成12年第2四半期は115万 $m^3$ 程度（対前年同期比88.6%）、第3四半期は115万 $m^3$ 程度（対前年同期比94.1%）になるものと見通される。

供給（港頭入荷量）は、需要動向を反映したものとなり、平成12年第2四半期は110万 $m^3$ 程度（対前年同期比86.1%）、第3四半期は115万 $m^3$ 程度（対前年同期比95.4%）になるものと見通される。

### （2）製材品

需要（港頭出荷量）は、新設住宅着工戸数がやや減少すると見込まれること等から、平成12年第2四半期は112万 $m^3$ 程度（対前年同期比95.9%）、第3四半期は115万 $m^3$ 程度（対前年同期比99.5%）になるものと見通される。

供給（港頭入荷量）は、産地事情（乾燥材供給体制）需要動向を反映したものとなり、平成12年第2四半期105万 $m^3$ 程度（対前年同期比92.5%）、第3四半期115万 $m^3$ 程度（対前年同期比101.3%）になるものと見通される。

## 3 欧州材

### （1）丸太

供給（通関ベース）は、平成12年第2四半期1万 $m^3$ 程度、第3四半期2万 $m^3$ 程度の入荷になるものと見通される。

### （2）製材品

供給（通関ベース）は、新設住宅着工戸数がやや減少するものの、KD材で、価格競争力を有していること等から安定した市場を形成しており、平成12年第2四半期は50万 $m^3$ 程度（対前年同期比98.6%）、第3四半期は50万 $m^3$ 程度（対前年同期比110.1%）になるものと見通される。

#### 4 南洋材

##### (1) 丸太

製材用丸太の需要（港頭出荷量）は根強いものの、産地における良質材の不足、製品輸出への転換等から、平成12年第2四半期は8万 $m^3$ 程度（対前年同期比89.9%）、第3四半期は8万 $m^3$ 程度（対前年同期比95.2%）になるものと見通される。

また、合板用丸太の需要は、産地価格の上昇に加え合板原料の針葉樹化の進展等から、平成12年第2四半期は77万 $m^3$ 程度（対前年同期比93.2%）、第3四半期は78万 $m^3$ 程度（対前年同期比103.0%）になるものと見通される。

一方、製材用、合板用を合わせた丸太の供給（港頭入荷量）は、中国との競争から、平成12年第2四半期は80万 $m^3$ 程度（対前年同期比90.2%）、第3四半期は80万 $m^3$ 程度（対前年同期比91.4%）になるものと見通される。

##### (2) 製材品

需要（港頭出荷量）は新設住宅着工戸数が11年をやや下回る程度に見込まれることから、平成12年第2四半期は23万 $m^3$ 程度（対前年同期比101.8%）、第3四半期は24万 $m^3$ 程度（対前年同期比96.8%）になるものと見通される。

供給（港頭入荷量）は、新設住宅着工戸数等の需要動向、産地事情を反映し、平成12年第2四半期は24万 $m^3$ 程度（対前年同期比106.7%）、第3四半期は23万 $m^3$ 程度（対前年同期比93.5%）になるものと見通される。

#### 5 アフリカ材（丸太）

需要（港頭出荷量）は、製材用、合板用計で、平成12年第2四半期は、5万 $m^3$ 程度（対前年同期比92.7%）、第3四半期は5万 $m^3$ 程度（対前年同期比68.0%）で安定して推移するものと見通される。

供給（港頭入荷量）は、需要に応じたものとなり、平成12年第2四半期5万 $m^3$ 程度（対前年同期比119.0%）、第3四半期5万 $m^3$ 程度（対前年同期比64.9%）になるものと見通される。

## 6 北洋材

### (1) 丸太

需要（港頭出荷量）は、合板原料の針葉樹化はあるものの、住宅着工に伴う需要増が望めないこと等から、平成12年第2四半期は135万 $m^3$ （対前年同期比94.3%）、第3四半期は130万 $m^3$ 程度（対前年同期比95.9%）になるものと見通される。

供給（港頭入荷量）は、中国との競合や需要動向を反映したものとなり、平成12年第2四半期は130万 $m^3$ 程度（対前年同期比79.3%）、第3四半期は130万 $m^3$ 程度（対前年同期比99.1%）になるものと見通される。

### (2) 製材品

供給（港頭入荷量）は、産地の出荷意欲を反映したものとなり、平成12年第2四半期は11万 $m^3$ 程度（対前年同期比89.5%）、第3四半期は12万 $m^3$ 程度（対前年同期比114.3%）になるものと見通される。

## 7 ニュージーランド・チリ材

### (1) 丸太

需要（港頭出荷量）は、針葉樹合板への利用、梱包需要の回復等はあるものの産地価格と国内市況のギャップから、平成12年第2四半期は36万 $m^3$ 程度（対前年同期比103.2%）、第3四半期は、36万 $m^3$ 程度（対前年同期比82.4%）になるものと見通される。

供給（港頭入荷量）は、需要動向を反映したものとなり、平成12年第2四半期は35万 $m^3$ 程度（対前年同期比102.6%）、第3四半期は37万 $m^3$ 程度（対前年同期比83.4%）になるものと見通される。

### (2) 製材品

需要（港頭出荷量）は、梱包需要が回復しつつあること等から、平成12年第2四半期は17万 $m^3$ 程度（対前年同期比114.9%）、第3四半期は16万 $m^3$ 程度（対前年同期比98.8%）になるものと見通される。

供給（港頭入荷量）は、需要動向を反映したものとなり、平成12年第2四半期は16万 $m^3$ 程度（対前年同期比100.6%）、第3四半期は16万 $m^3$ 程度（対前年同期比93.6%）になるものと見通される。

## 8 合板

国産合板と輸入合板を合わせた総需要量は、新設住宅着工戸数がやや減少すると見込まれること等から、平成12年第2四半期は193万 $m^3$ 程度（対前年同期比86.6%）、第3四半期は191万 $m^3$ 程度（対前年同期比99.6%）になるものと見通される。

国産合板と輸入合板を合わせた総供給量は、需要に応じたものとなり、平成12年第2四半期は187.5万 $m^3$ 程度（対前年同期比84.7%）、第3四半期は188万 $m^3$ 程度（対前年同期比96.6%）になるものと見通される。